

ポジトロン放射断層撮影 (PET/CT) 検査に関する説明と同意書

施設名 _____

医 師 _____

1. ポジトロン放射断層撮影 (PET/CT) 検査について

この検査は、放射性同位元素 (F-18) で標識されたフルオロデオキシグルコース [¹⁸F] FDG という薬剤を注射した後に撮影を行って体内の糖代謝能をみることにより、がん等の疾患を診断する検査です。CTを同時に施行し、診断能を更に向上させます。

2. 検査の安全性と危険性

当院で使用する [¹⁸F] FDG は、日本核医学会および日本アイソトープ協会が定めるガイドラインに準拠し、院内で当日製造し品質試験に合格したものです。本邦における臨床試験において、287例中13例 (4.5%) に副作用 (臨床検査値の異常を含む) が認められましたが、当センターでは開設以来2006年3月までおよそ1年間に2,300人に検査を実施いたしました。この医薬品が原因と思われる副作用は現在まで1例も報告されておりません。PET 検査1回の被曝量は胃のバリウム検査とほぼ同等で、この線量で放射線障害が起きることはありません。(ただし、妊娠している方、小児についてはご相談下さい。) CTによる被曝線量も患者様の診断に必要な最低限の量に最適化しています。

3. PET/CT 検査を受けるにあたり次の点をご理解ください

- ◆ FDG 投与後は1時間ほど安静が必要になります。
- ◆ FDG は糖代謝の盛んな脳や心臓に強く集積します。また、尿から排泄されるので、腎臓や尿路、膀胱に強く集積します。このためこれらの臓器の診断は難しくなります。
- ◆ FDG は、炎症や甲状腺腫、大腸腺腫などの良性疾患にも集積します。
- ◆ FDG-PET は、顕微鏡レベルのがんや5mm以下の小さながん、糖代謝の低いがんは診断できません。また、がんの中にも肝細胞癌や胃癌などのようにFDGが集積しにくいものがあり診断できないことがあります。
- ◆ PET/CT 検査はこれだけで診断が確定するものではありません。このため今回の検査で異常所見がみられた場合、診断のために更に他の追加検査が必要となることがあります。
- ◆ CTでは必要に応じて造影剤を使うことがあります。

4. その他

当PETセンターでは、テレビカメラを通して検査の進行状況を把握し、皆様方をご案内しております。しかし、画像を録画したり、プライバシーを侵害したりすることはございませんので、ご了承ください。今回の検査結果を医学会や学術誌に発表、あるいはより多くの方に検査を知って頂くために使用することがありますので、ご理解ください。この際、氏名などのプライバシーに関する個人情報が公表されることはありません。

同 意 書

私は上記の説明を読み、十分理解した上で検査を受診することに同意します。

年 月 日

氏 名 _____ 印 _____

(自署もしくは捺印)